7　本時のねらい

増加の場面でもたし算で表せることが分かり，「入れる，くる，もらう」などの事象についてブロックで操作しながらたし算の式で答えを求めることができる。

7　本時のねらい

減る前の数を求める逆思考の問題で，減った分をもどせば元の数になることに気づきそのブロック操作からたし算で求めることができる。

予想される児童の反応と援助	１年生の学習活動（留意点）	過程	わたり		過程	２年生の学習活動(留意点)	予想される児童の反応と援助		
	1　本時の問題を提示する。 金魚が５匹います。２匹増えると何匹になるでしょう ・数図ブロックをお話をしながら動かす。 2　本時の課題を考える。 話のとおりにブロックを動かして式を作ろう。 ・最初５匹いて２匹増えたから ５＋２＝７　　７ひき 3　たし算の練習問題を行う。 ①ケーキが６個箱にあります。４個入れると何個になるでしょう。 ６＋４＝１０　　１０こ ②子どもが３人あそんでいます。６人来ると何人になるでしょう。 ３＋６＝９　　９人 4　答えあわせを行う。 増えるときもたし算で求めればよい。 5　たし算の式から答えを求める練習をする。 ・式を書く→（ブロック）→答えをかく 6　練習の答え合わせをする。	つかむ 考える 深める まとめる	◆◆◆